

▼無水エタノール [外]

【重要度】 【一般製剤名】無水エタノール ethanol 【分類】アルコール製剤

【単位】▼mL

【用法】

【透析患者の用法】二次性副甲状腺機能亢進症に対して副甲状腺 PEIT（経皮的エタノール注入法）施行時に使用（5）

【特徴】本剤自体には特に薬効にあげられる点はなく、外用には刺激が強く、かつ消毒用エタノールよりも殺菌効力が劣る。エタノール注射剤は神経ブロック（神経を破壊し除痛する目的）、消化管出血の止血、食道静脈瘤の消退、肝細胞癌の壊死、肝腎等の嚢胞治療などにも用いられる。

【吸収】11.25g が20min で吸収される（13）

【F】80%（13）

【tmax】0.5~1.6hr（13）【Cmax】35g を単回経口投与後の Cmax は男性で650 μ g/mL、女性で761 μ g/mL（13）

【代謝】アルコールデヒドロゲナーゼなどの代謝過程が飽和する（Michaelis-Menten 式に適合する）ため、投与量増加に伴い CL が低下し、t1/2 が延長する。CYP2E1 も代謝に関与しており、特に慢性アルコール中毒時には重要な役割を果たす（13）

【排泄】尿中未変化体排泄率3%以下（13）

【t1/2】低用量時0.24hr（13）

【Vd】0.54L/kg、加齢・女性で低下（13）

【薬物動態】Vmax=124mg/kg/hr、Km=82 μ g/mL、CL は喫煙者で増加（13）

【特殊な投与方法】メタノール中毒を血液透析で治療するには alcohol dehydrogenase を飽和させるために透析液にエタノールを 25mmol/L になるように加え、腎不全患者でなければリン酸も加えるという報告あり（Nephrol Dial Transplant 14: 1774-1777,1999）

【更新日】20121224

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。